

第2回高知県立学校の校名に関する検討委員会 会議録

1 開会及び閉会に関する事項

開会 平成28年4月12日(火) 18:30
閉会 20:55

2 場所

高知共済会館 3階「大ホール 桜」

3 出席委員及び欠席委員の氏名

出席委員	委員	池	康晴
	委員	池田	あけみ
	委員	稲田	知江子
	委員	川北	恭弘
	委員(会長)	西郷	和彦
	委員(副会長)	時久	恵子
	委員	西尾	洋之

4 高知県教育委員会事務局の出席した者の氏名

高知県教育委員会	教育長	田村	壮児
高知県教育委員会事務局	教育次長	藤中	雄輔
〃	教育次長	永野	隆史
〃	高等学校課課長	高岸	憲二
〃	高等学校課企画監(再編振興室長)	坂本	寿一
〃	高等学校課課長補佐	高野	和幸
〃	高等学校課再編振興担当チーフ	松井	竜太
〃	高等学校課主査	久保	義博
〃	高等学校課指導主事	前野	佐希子
〃	高等学校課指導主事	野中	昭良
〃	高等学校課指導主事	清水	宏志

5 高知県立学校の校名に関する検討委員会会長の依頼により出席した者

須崎工業関係者：同窓会会長 林 和夫、PTA会長 山中 利秀
須崎高校関係者：PTA会長 森下 卓也
高知南中学校・高等学校関係者：校友会会長 秋本 洋雄、PTA会長 川上 政寿
高知西高校関係者：校友会会長 岡崎 豊、PTA会長 濱田 幾久子

6 傍聴

61名

7 内容

【開会】

司会	<p>定刻になりましたので、ただ今から「第2回高知県立学校の校名に関する検討委員会」を開催いたします。私は高知県教育委員会事務局高等学校課課長補佐の高野でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>本日、ご出席いただいております、7名の委員の皆様を紹介させていただきます。池康晴委員、池田あけみ委員、稲田知江子委員、川北恭弘委員、当委員会の会長である西郷和彦委員、当委員会の副会長である時久恵子委員、西尾洋之委員、委員の皆様、本日はどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>次に、本日の日程について説明させていただきます。次第をご覧ください。</p>
----	---

	<p>本日は、「校名候補の決定方法等に関する統合対象校の学校関係者からの意見聴取」として、各統合対象校の学校関係者の代表者の皆様からご意見を伺うようになっています。なお、本日の意見聴取における学校関係者の参加・発言については、「当検討委員会設置要綱」第7条第5項に基づき、当委員会会長から依頼しております。</p> <p>次に、配布資料について確認させていただきます。クリップ止めの資料が2部ございます。一つは、次第が表紙になった資料で、内容は、次第、委員名簿、検討委員会設置要綱、スケジュール、会議録となっております。もう一つは、メモ用紙が表紙になった資料で、内容は、メモ用紙、資料1、資料2となっております。また、別紙として「本検討委員会の傍聴要領」がございます。不足している資料がありましたらスタッフまでお知らせください。</p> <p>次に、傍聴に関してのお願いをお伝えします。本検討委員会では、受付で配布させていただいた傍聴要領のとおり、私語や拍手など会議の支障となる行為をしないようお願いいたします。協議中にこのような行為があった場合、会長が注意し、なお、改めない場合は、申し訳ございませんが退場していただくこととなりますので、あらかじめご了承ください。</p> <p>また、会議中の録音及び撮影についてですが、第1回の会議の際に要望があり、協議の結果、この会議では報道関係者以外の傍聴者の方の録音及び撮影は控えさせていただくこととしておりますので、ご理解、ご了承くださいませよう、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、議事に移らせていただきます。ここからの進行は、西郷会長にお譲りいたします。西郷会長、よろしくお願いいたします。</p>
--	--

【校名候補の決定方法等に関する統合対象校の学校関係者からの意見聴取】

(1) 須崎工業高等学校関係者（同窓会代表、保護者代表）

<p>会長</p>	<p>それでは、次第にしたがって会を進行いたします。</p> <p>本日は、「校名候補の決定方法等に関する統合対象校の学校関係者からの意見聴取」となっております。</p> <p>議事の進行については、各統合対象校の学校関係者代表の方、お二人あわせて、20分以内で校名の決定方法等についてのご意見を述べていただき、その後、10分程度の委員との質疑応答とさせていただきます。</p> <p>なお、順番につきましては、まずは「高吾地域拠点校」の統合対象校である須崎工業高等学校、須崎高等学校からはじめさせていただきます。</p> <p>休憩後に、「新中高一貫教育校」の統合対象校である高知南中学校・高等学校、高知西高等学校の順に進めさせていただきます。</p> <p>委員の皆様、よろしいでしょうか。</p>
<p>各委員</p>	<p>〈 異議なし 〉</p>
<p>会長</p>	<p>それでは早速、須崎工業高等学校の学校関係者代表の皆様からお願いしたいと思います。発言席の方どうぞ。</p> <p>それでは、須崎工業高等学校の学校関係者代表の皆様、よろしくお願いいたします。</p>
<p>須崎工業 (同窓会代表)</p>	<p>須崎工業高等学校の同窓会から意見書という形で提出させていただいております。(提出している意見書)別紙のとおりです。</p>
<p>会長</p>	<p>はい、ありがとうございます。</p>

須崎工業 (同窓会代表)	意見書に関して、ご質問があればどうぞ。
会長	では、質問をいたします。確認ですが、「須崎」という地名を残してほしいという点と「工業」という文言を含めてほしいということですが、校名の決め方についてのご意見はどうでしょうか。どういうふうに決めたらよいとお考えでしょうか。
須崎工業 (同窓会代表)	「工業」に関する学科があるということがわかるようにしてほしいです。どういうふうに決めたらいいか、と言われましても、個人的な意見になってしまいます。最終的に他の学校もありますし、須崎工業高校の卒業生も1万人を超えていますので、最終的にはこの委員会にお任せしたいと考えています。
会長	決め方をこの会で決めてよろしいでしょうか。いくつか候補を絞り込んで、教育委員会で決定するでよろしいでしょうか。
須崎工業 (同窓会代表)	その決め方でよい。
委員	統合してからの学校の将来像をどうお考えですか。
須崎工業 (同窓会代表)	簡単には言えませんが、もちろん統合するための趣旨がありますので、それを踏まえて、教育委員会が目的や内容を決めればよいと思います。
会長	それでは複数の校名候補に決めるでよろしいですね。
教育長	検討委員会では、校名候補を必ず複数に決定するというを前提にはおりません。
会長	須崎工業高校の保護者代表からのご意見をお聴きしたいと思います。
須崎工業 (保護者代表)	現在在籍している子どもたちの多くが、就職を希望しています。企業で働いているOBから求人票をいただいてきた経緯があり、須崎工業高校の名前が変更になった時、企業向けのアピールが必要になる。須崎工業高校の名前が残るような方法を取っていただきたいです。昔はこういう名前でした、とアピールできるような校名にしたいです。単に「総合高校」といったような名前ではなく、校名が変更になっても、須崎工業という名が伝わる校名をお願いしたいです。
委員	校名の決め方について、PTA 会長として、こうしてほしいという希望はありますか。
須崎工業 (保護者代表)	須崎の名前や地域などが分かるものにしてほしいと思います。校名候補をいくつか案を出していただいて、その中から検討してもらいたい。高吾地域を代表する名前をつけてもらいたいと思っています。
委員	3つ4つ出してから、須崎高校と話し合ったりはできますか。
須崎工業 (保護者代表)	3つ4つ出た段階で、須崎高校と一緒に話し合いができたらと思っている。

委員	同窓会やPTAがこれまでに須崎高校と一緒に話す機会がありましたか。
須崎工業 (保護者代表)	須崎高校のPTA会長とは、時々顔を合わすことがあり、話をしたことはありますが、直接校名に関して議論したことはありません。
委員	校名候補を3つ4つ出す方法について、お考えはありますか。
須崎工業 (保護者代表)	オリンピックのエンブレムも4つ候補があがっているので、あの形がいいと思います。そして、地元の教育関係者やOBなどに選んでもらったらよいと思っています。
委員	地元を中心とした公募がよいということでしょうか。
須崎工業 (保護者代表)	そういうことです。
副会長	委員会から公募もという話があれば、公募でよいということでしょうか。
須崎工業 (保護者代表)	そう思っています。
会長	一つ確認ですが、県民の意見を聴くということは、県内全域となりますが、今のお考えでは、高吾地区に限定してということでしょうか。
須崎工業 (保護者代表)	はい。
委員	どこまでに限定するか難しいが、どこまでという案はありますか。
須崎工業 (保護者代表)	県内の東、西は興味がないでしょうから、今、生徒が通学している範囲の窪川から土佐市、いの町ぐらいでいいと思います。
委員	これから須崎高校と協議を進める気持ちはおありですか。
須崎工業 (同窓会代表)	これまで話し合いは一切していない。今後は、話し合う気持ちはあるが、機会がないので、いつも話し合うというわけではない。県民であれば高吾地区も全て入るので、これ以外にないのではないかと考えている。
会長	他に質問はありませんか。今の質問を受けて、ご意見があればよろしくお願ひします。
須崎工業 (保護者代表)	特に意見という意見はありません。すでに意見書という形で、同窓会やPTAの思いや考えを全面に出しています。
会長	委員の皆様、以上でよろしいでしょうか。
各委員	〈 よい 〉
会長	それでは、須崎工業高等学校の学校関係者代表の皆様、ありがとうございました。

(2) 須崎高等学校関係者（鳩友会代表、保護者代表）

会長	<p>次に、須崎高等学校からの意見をお聴きしたいと思います。学校関係者代表の方、よろしく願いいたします。</p> <p>なお、須崎高校の同窓会代表は所用のため事前に欠席の連絡をいただいております。意見に関しては、資料を預かっていますので、事務局の方で代読をお願いします。</p>
司会	<p>失礼します。資料2の最後のページをご覧ください。それでは、代読させていただきます。</p> <p>さて本年度で創立70年を迎える須崎高等学校は、創立場所の旧須崎町城山のふもと鍛冶町から現在の新莊川の畔、下分への転移、そして、平成31年度に須崎工業高等学校との統合により現須崎工業高等学校の敷地内に高吾地区の拠点校として開校予定はご案内のとおりでございますが、同窓会の心のよりどころである現在の高校場所もなくなり、校名も消滅しようとしていることに創立当時の諸先輩方はもとより同窓会の多数の方々から場所もなくなり、校名もなくなるのは余りに寂しい、やはり統合高校の校名は「須崎高校」としていただきたいという声が多量に思われます。</p> <p>同窓会の総意といたしましては、諸先輩方の思いを酌み、校名は「須崎高校」としていただきたいというのが、高知県立学校の校名に関する検討委員会第2回の会合に向けた意見でございます。</p> <p>しかし現役員での話し合いでは、安心安全を第一にハード面ソフト面を中心にしっかりとした整備をして平成31年を迎えていただきたいと考えておりますし、委員の皆様には高吾地区の拠点校として相応しい校名をいろいろな角度からフリーな立場で考えていただきたいと思っております。</p> <p>ただ私ども同窓会としての総意といたしまして校名は「須崎高校」としてお願い申し上げたいと思います。</p> <p>よろしく願いいたします。</p> <p>以上、代読させていただきました。</p>
会長	<p>それでは、保護者代表からお願いします。</p>
須崎高校 (保護者代表)	<p>保護者役員会で諮って、具体的な校名の方は出ておりませんが、まずは公募を行っていただきたいと考えています。そのうえで学校関係者で10校ぐらいに絞り込んで、検討委員会で検討いただき、教育委員会で決定していただきたい。</p> <p>公募の方法については、県内外の人をお願いしたいです。県内や県外で活躍している方も応募できるようにしていただきたい。また、新聞の折り込みやインターネットなど、どういった方法が適切であるかについては、委員に考えていただきたいです。</p> <p>さらに、公募の条件はどうするのかも考えていただきたいです。学校名だけ出していただくのではなく、どうしてそのような校名を選んだのか、その理由、意見、思いを一緒に出していただけたら、選ぶ時の参考になります。</p> <p>先日の意見書には、「高知県立須崎総合高等学校」という校名が提案されていましたが、ありきたりだと感じています。これは保護者にアンケートを実施し、出てきた校名です。そのようなわけで、須崎並びに県内外から公募していただきたいです。</p>
委員	<p>先ほどの須崎工業の意見を聴いて、どのように感じましたか。</p>

須崎高校 (保護者代表)	個人的にはいいかなと思いました。公募の結果を踏まえて、一緒に考えていきたいと思いました。
委員	須崎工業の案、須崎高校の案で決めていくのか。公募を行うのか。
須崎高校 (保護者代表)	各関係者が公募に参加するので、公募を行ってほしいです。
会長	公募に関してですが、関係者も応募する権利がある。個人の権利で応募するということでもよろしいですね。また、県外にもアピールしていきたいということで、県外も含めて公募ということでもよろしいでしょうか。
須崎高校 (保護者代表)	そういうことでお願いします。
委員	手順は、公募をしたうえで、それぞれの学校でいくつかの候補を選んで、それを持ち寄って、両者が協議していくということでもよろしいですか。
須崎高校 (保護者代表)	私の意見としては、それでもかまいません。
会長	例えば、県内外から公募し、出てきた 20 から 30 の案を両校で 10 ぐらいの校名候補に絞り込み、そこから検討委員会で検討し、2つか3つに絞り込むという方法でしょうか。
須崎高校 (保護者代表)	逆でもかまいません。検討委員会が絞り込んだものを両校で検討するなど、両校関係者が校名選びのプロセスに関与できればかまいません。
稲田委員	公募を行い、10 ぐらいに絞り込んだものを両校がテーブルについて、校名について話し合う。そのように受け止めましたが、よろしいでしょうか。
須崎高校 (保護者代表)	はい。
委員	須崎高校も須崎工業も、同窓会と保護者が一緒になって考えていくでもよろしいでしょうか。
須崎高校 (保護者代表)	はい。
副会長	須崎工業は地元優先。須崎高校は広く県内外で公募を実施し、県民の意見を聴いたうえで両校関係者が関与して絞り込みを行っていく、でもよろしいでしょうか。
須崎高校 (保護者代表)	はい
会長	他に何かご質問はありませんか。 質問がないようなので、委員の皆様。以上でもよろしいでしょうか。それでは、須崎高等学校の学校関係者代表の方、ありがとうございました。

休憩

(3) 高知南中学校・高等学校関係者（校友会代表、保護者代表）

会長	<p>ここからは、高知南中学校・高等学校からの意見をお聴きしたいと思えます。学校関係者の皆様、発言席にどうぞ。</p> <p>それでは、高知南中学校・高等学校の関係者の2名の皆様、よろしくお願い致します。</p>
高知南 (保護者代表)	<p>この度は、第2回目の県立学校の校名に関する検討委員会に発言する場をいただきまして、誠にありがとうございます。高知南中・高等学校の保護者、PTAを代表いたしまして、この場をお借りして発言をさせていただきます。</p> <p>私たちPTA、また校友会、国際教育振興会、進取会は、前回第1回目及び今回第2回目の委員会に先立ち校名を検討するに当たっての思いや伝えたいこと等を、別紙要望書として提出させていただいておりますので、ご参照ください。それは、資料1、資料2になっております。</p> <p>なお、これまでの再編振興計画に関する意見等については、一定の理解をしているという前回の企画監からのご説明どおり、経過は合意しているうえでの要望とさせていただきます。</p> <p>今回、特に私からの要望としては、これまでの経緯や経過につきまして、委員の皆様、また本委員会に関係します皆様方にご理解いただき、これからの委員会に反映していただければと、特に資料2の5ページでは、これまでの高知南における流れを取りまとめさせていただきました。</p> <p>私たち本校関係者一同は、今回の再編振興計画について、苦渋の決断をする一方、未来ある高知県の教育環境に、希望と私たち先人が果たす役目としての教育観を含めた議論をしまりました。これまで、資料にもありますように、再三そして何度となく県教委や教育委員の皆様と話をする機会を設け、時には白熱した協議をすることもありましたが、私たちの思いは一つ、現役の中高生、そしてこれから入学してくる生徒たちの成長と教育環境を考えたものであり、自己的な見解で進めてきた協議ではなかったことをご理解ください。</p> <p>2年前、突然の閉校については、非常に大きなショックを受けたことは事実ではありますが、その後、県教委から統合という表現で説明を受けました。私たちもすぐ、これらの内容について統合と見直し、一方で白紙撤回を求めるとともに、統合本来の必要性や高知における再編振興計画の内容や考え方についても、同時に協議してまいりました。</p> <p>そして、時間的な経過の中で、統合についてもその視点では、一定ではあるが、方向性や具体的な内容等についても、見直しや改善等、多方面、また違った角度から協議していくということで、今回の再編振興計画になっていることをご理解ください。最終的には県としても、また、本校関係者としても、一つでも接点を見つけ出そうとし、非常に困難な状況の中で一つの方向性を見つけ出した経緯があります。その一つに、教育長から校名等については一度棚上げし、本来の再編振興計画の一定の方向性が示されたのち、校名に関する委員会を開催し、協議するとのご意見を受けて、そのベースとなる再編振興計画が進められ、今回の校名に関する検討委員会の開催に当たっています。</p> <p>これまで、進取会とも再三確認しながら協議してまいりました。再度申し上げますが、非常に問題や課題を抱えながらも、良きものにするために、進めなければならない再編振興計画です。お互いに違う意見ではなく、幅広い方々のご意見や、特に時代の流れと共に、これからの社会状況、社会的な立場などを考えて進めることを、私たちは願っています。</p>

そこで、校名について提出いたしました要望書にもありますように、これからの高知県の教育、これは日本の新たな教育改革につながる。また、公立学校としての新たな起源になると考えます。

それは、昨年で開催された県民に対しての教育シンポジウムの中でも、有識者や学識者から再編振興計画における高知県のバカロレアの取組には、高い評価と期待を受けています。この先、高齢社会、少子化、国際化、グローバルなど大きく社会を回復する要因があります。物理的な対応や環境は、短い期間で行うことができると思いますが、教育環境や人を教育、育てることは短時間では難しく、その成果を求めるまでには5年、10年、15年と必要です。だからこそ、今変わっていく。また、変わろうとしている少子化や、国際社会等における教育環境の対応は、しっかりと見つめていく必要があると思っています。そのためにも、安易な考え方ではなく、その先、その後を見据えた、またグローバルな視点で、これからの子どもたちの成長と社会への関わりが構築できる教育環境を、協議する必要があると考え、要望書に記載いたしました。その内容をご理解いただき、本委員会で協議、検討をお願いいたします。

具体的には、資料2の3ページ以降に記載しております。一部ですが、校名を決めるにあたっての根幹になるものを特記してはいますが、要望理由というところに、全国的に国際バカロレアを実施している学校は、私立の中高一貫校が主流であり、公立学校が国際バカロレアの教育方針を掲げ、国際バカロレアの認定に向けた取組を行っている事例はなく、全国初であること。次のところでは、公立学校としての責務を果たす価値を考えると、現在国際バカロレアを実施している大多数は大都市圏に集中しており、これからの地方教育や少子化に伴う地方の公立学校の在り方、改革として期待されていると思います。

次に、全国的に見ても困窮率の高い本県においては、義務教育である中学校から、高等学校への進学を断念する家庭も多くあると思います。しかし、高等学校への進学、短大や大学への進学は、今、一般化されつつあります。そこで、新たな中高一貫校では、公立という立場とバカロレア認定校として、希望が高い存在となります。これらは、これまで再三協議する中で、県教委や教育委員の皆様にご説明させていただきました。

また、先ほど述べましたように、昨年の11月29日に行われました高知県グローバル教育シンポジウムの開催では、大都市圏以外の地域で、地域条件、学校の所在地による教育の格差を解消する取組であると。また、私立ではなく、公立として経済的条件の格差を解消する取組でもある。大学入学におけるIB選考導入の拡大を受け、地方公立校からの進学向上につながる取組である。国際社会における企業としては、グローバル人材の育成につながる学校教育として、非常に評価が高い取組である。そして、シンポジウムのまとめの中で、評価され期待されていました。

そこで私たちは、これらを踏まえて、新たな学校教育として、全国的にも国際的にも通用する学校名、そして本委員会の協議をお願いしたいと思います。その趣旨といたしましては、2ページにも書いてありますとおり、一番のところにありますけれども、要望事項ということで、具体的には西、南となる表現表記などについてのことが書いてあります。また、案として提案させていただいています。

最後になりますけれども、今回、校名に関する検討委員会での内容や、協議事項が間違った情報として、SNS上などに、特に子どもたちの間に拡散することは、本来の趣旨に反し、子どもたちの心に与える影響が非常に大きいと思われます。本委員会の開催前、また開催後において、子どもたちや周囲から様々な憶測と情報を耳にする機会があり、受験を控えた子どもたちは動揺や不安を抱えながらも大学受験、高校受検、中学受検、そして

	<p>進学、就活をし、自分の将来に向けて、今歩んでいます。そのためにも、私たち大人が注意して適切な情報を表現することを、切にこの場をお借りしお願い申し上げます。</p> <p>お伝えしたことはたくさんありますけれども、私たちは要望書にまとめた内容が、全てだと思っております。参考にして頂ければ、幸いと思っております。長時間になりましたけれども、意見を聴いていただきまして、ありがとうございました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。次、お願いします。</p>
高知南 (校友会会長)	<p>高知南中・高等学校の卒業生を代表しまして、発言させていただきます。よろしく申し上げます。</p> <p>卒業生の立場として、一番わかっていたきたいのは、本校がなくなるということは、すごく悲しい、寂しいという気持ちは今も変わりません。ただ、先ほど PTA 会長からもありましたが、今回の統合は仕方がないことですが、卒業生の立場としては何とも言えないです。</p> <p>正直、希望としまして、新しい学校について、高知南高校の卒業生は約 1 万人いるのですが、その卒業生たちが母校であると思える学校にしていきたいということです。それで新しい学校に、希望を言うと高知南の卒業生、高知西の卒業生が力を合わせて、新しい学校の発展に寄与できたら、ということが私たち卒業生の思いです。</p> <p>ここで、校名をどうやって決めていくのかということ、こういう形で会を設けさせていただいていますので、私たちの意見を聴いてもらえるのなら、単に西と南という名前を合わせた名前にならないような、新しい学校の意味や抱いている思いというのを、高知西高校の方と一緒に決めていけたら、これほどいいことはないのではないかと思います。そうやって名前を決めていくことからやらせてもらえれば、私たち卒業生も母校だという認識が出てくるし、思いを込められるのではないかと思います。</p> <p>それで、希望する校名の決め方として、私たちは事前に希望の校名を出させていただいていますが、両校が新しく希望する校名をそれぞれ 2 つずつくらい出し合って、それをすりあわせていく方法で、もしその中に合致するものがあり、特に他に意見がないのであれば、それを選考していただきたい。</p> <p>また、そこで、両校が挙げた校名が全然違うものであれば、その場合は検討委員会の皆様に選んでいただきたいと思えます。そこで、お願いしたいことは、西と南という名前は入れないという方向で、考えていただきたいということが希望です。西と南を入れない理由は、先ほど話した内容となりますので省略します。</p>
会長	<p>ありがとうございました。それでは、委員の皆様から、ご質問があれば、よろしく申し上げます。</p>
委員	<p>先ほどのご意見の確認ですが、基本的に先ほどの須崎高校と須崎工業の時がそうでしたが、案が出てきた段階で、両校の関係者が一緒に協議をするということをお考えでしょうか。</p>
高知南 (校友会会長)	<p>今、高知西高校さんは、校名を残したいということで署名活動をされていますので、話し合いで落ち着くのかという不安が正直あります。なので、希望する校名をそれぞれから出して、検討するという形を取りたいです。</p>
会長	<p>両校で検討ということではなく、それぞれから出てきた案をこの検討委</p>

	<p>員会や教育委員会で検討していくということでしょうか。その時には、県民の意見を聞くということは、お考えではないでしょうか。</p>
高知南 (校友会会長)	<p>今、せっかくこのように校名をどのように決めていくかという会を設けていただいているので、新しい高校というのは、私たちの母校でもあるので、校名に思いを込められるのであれば、私たちの意見を聴いてもらえるような決め方にしてもらいたい。</p>
委員	<p>わかりました。</p>
高知南 (保護者代表)	<p>PTAとしても、校友会会長が言われたように、同様の考え方をもっていません。先ほども言いましたが、公募とかパブリックコメントとかにすると、どうしても数の論理になってしまうということが、発生したりするかもしれません。校友会会長が申し上げたように、学校への思いというのは、私たちも卒業生もいろいろな思いがありますけれども、今回この統合という形を受けて、私たちが感じたことは、グローバル教育、バカロレア教育に向けた新たな学校を設立するという高知県の未来ある考え方を求めて、話し合いを進めてまいりました。</p> <p>校名の撤廃という話もしてきましたけれども、そういう話し合いも検討も十分行い、そしてお互いがある程度、理解をしたうえで、今回この場に立っています。そういったところをご理解していただき、難しい問題ではありますが、この辺につきましても検討委員会の方でも、また、教育委員会や議会などのいろいろな場で、判断していただけたらと思います。単純にアンケートを取って、数が多かった方で決めるといった方法ではないようにお願いします。</p>
会長	<p>わかりました。他に何か、ご質問等ありませんか。</p> <p>それぞれの高校のそれぞれの思いをまとめるには、どこかで話し合いをしないと、まとめようがないのですが、今のお考えでは、それぞれの思いを私ども委員に伝えることによって、ここの委員会である程度の方向性、決め方を決めていいとお考えなのか、それとも自分たちが主体的に参加するためには、高知西高校の関係者とも、これから話していくというおつもりなのかどうか、その辺はどうでしょうか。</p>
高知南 (保護者代表)	<p>本心を言えば、ここに挙げた案を協議してほしいが、お互いにそればかりを強調してしまうと、なかなか先に進まない問題も生じてくると思います。先ほど、会長からもお話がありました、ものすごく悩むのが現状です。</p>
高知南 (校友会会長)	<p>今日は、先に私たち高知南の方が発言していますので、高知西高校さんがこの後、発言されると思います。当初から校名を残したいと言われていきますので、この先、そこがどうなのかがわかりませんが、当然新しい高校と一緒に考えていこうということになれば、それは一緒に話を進めていって、新しい校名を決定していけたらと思います。</p>
委員	<p>新しい校名を出し合っという意見でしたが、その出し方とか希望というのがありますか。この資料に載っているもののことでしょうか。</p>
高知南 (校友会会長)	<p>はい。そうです。先ほどの発言の中では、例えば各校から2つずつと言いましたけれど、そこをどうするかということは、また決めて、そこに制限があるなら、それに従って提出させていただきたいと思います。</p>

会長	他に、いかがでしょうか。
委員	将来の子どもたちのために統合によって、どういう風な高校になってほしいかお考えがありましたらお願いします。
高知南 (保護者代表)	<p>ありがとうございます。今回の統合につきましては、やはり国際的なものを見越したうえでの話でもあります。少子化という話もありますけれども、それにも増して、これまで各協議会や議会で協議してきた時に、高知県における教育の質をあげていきたいという気持ちを、県の方からうかがいました。</p> <p>高知南にある国際、そして高知西にある英語科、この2つの強い大きな要素は、今後一つの大きな力になると思います。これは本当に高知県としても、高知市にしても、もしかしたら日本としても新たな取組であるし、先ほどここに述べましたように、これから先、少子化でいろいろな地方の公立校が抱えている問題に対応できると思います。</p> <p>そして、バカロレアの考え方というのは、難しい課題は多いとは思いますが、非常に良い教育を受ける機会、チャンスを与えることができるというのであれば、この高知県に住んでいる子どもたちが、夢をもって世界に羽ばたけるのではないかという気がしています。</p> <p>そういうことで、新たな学校、新たに進んでいく高知県の学校が、高知南の生徒にとっても、高知西の生徒にとっても、母校となる形の学校にできればという風に思っています。</p>
高知南 (校友会会長)	思いは同じです。
会長	ありがとうございます。他に何かご質問ある方は、よろしくお願いします。
委員	確認をさせていただきたいですけれども、一般公募という形ではなくて、校名を両校から出して、それを検討するのでしょうか。
高知南 (校友会会長)	はい。そうです。
会長	他に何かありませんか。
委員	両校で、合致するものがあればそれを採用すると。それで全然違うというのであれば、委員に選んで欲しいとおっしゃっていたと思いますが、その選び方について、考えが何かありますか。
高知南 (保護者代表)	<p>最終的には、私たちが提出した要望書にもあります内容や、県が今出している再編振興計画の内容を考えていただいて、たぶんこちらに書いてることについては、方向性や芯は、ずれていないと思っております。</p> <p>基本的に1+1が2、1+1が1という形ではなく、今回の統合は、大きな課題でもあるということをも十分把握していただいて、検討していただきたいと思います。</p>
会長	ありがとうございました。他に何かご質問等ありますでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、高知南中学校、高等学校の学校関係者の皆様、ありがとうございました。

(4) 高知西高等学校関係者（校友会代表、保護者代表）

会長	<p>では引き続きまして、高知西学校からの意見をお聴きしたいと思います。 学校関係者代表の2名様、よろしくお願いいたします。 それでは、それぞれご意見をよろしくお願いいたします。</p>
高知西 (保護者代表)	<p>今日はありがとうございます。よろしくお願いいたします。 長い文章ですけれども、4つに分けて説明させていただきます。 まず一つ目です。</p> <p>高知西高校の持つイメージに対して、話をさせていただきます。高知西高校は60年の歴史と伝統と、それに伴う実績を持っております。昭和30年開校、昭和43年英語科開設、平成5年にオーストラリアフレンズ校と姉妹校を締結いたしました。平成6年に国際理解教育推進校の指定を受けております。平成15年にスーパーイングリッシュランゲージ校に指定されました。平成16年に高知大学との連携事業クリエイティブシンキングの開始です。そして、平成27年にスーパーグローバルハイスクールに認定されました。高知県でグローバル教育といえば高知西高校、そのイメージは広く県民に浸透していると思っております。</p> <p>また、全国的に見ても、「西」の付く高校は、歴史も伝統も持ち合わせた進学校であることが非常に多いです。その良いイメージを今回、再編振興計画に活かさないのは、高知県の高等教育において、大きな損失でございます。校名とは何でしょう。歴史、伝統、教育理念、そして実績の入った箱を包むような包み紙だと私は思います。レベルの高い生徒を集めるためには、中身はもちろん大事でございます。しかしながら、パッケージとかキャッチフレーズといったものも、重要な要素になってきます。</p> <p>2つ目でございます。</p> <p>単なるいち保護者として申し上げますので、お聴きください。</p> <p>再編問題に巻き込まれた学校は必ず荒れる。このことは親の間ではよく知られた事実でございます。学校が立ち直るまでの間、どれほどの時間と先生方の努力が必要でしょうか。今いる子どもたちのことをまず一番に考えていただきたいと思っております。</p> <p>また、立ち直るまでの間に併設中学校をつくったとしても、荒れている学校に、高い志を持つ受検生が集まるとは思いません。未来の高知西中学校、高知西高校の子どもたちに、思いをはせていただきたいと切に思っています。</p> <p>3つ目です。</p> <p>今、小学校の子どもさんをもつ若い保護者の意見が私の耳に入ってきておりますので、それをご紹介させていただきます。聞いたままを申し上げますので、土佐弁で話します。</p> <p>「場所は高知西高校、そこに中学校をつくるやったら、校名は高知西中学校で当たり前やないが」、「変えるにも税金がかかるがやろ。ほんならそのままでえいやん。高知西高校はえい学校ながやき」、「いつときグローバル、グローバル言いよったのに最近ひとつも聞かんと思ひよった。どうなっちゃうが」、「校名らあそのままかまん。そんなん決めゆう暇があったら受検のことや、そこへ入学したらどんな利点があるが、早よう知りたい。もうウチの子5年生ながやき」。教育熱心な若い保護者に対して、新中高一貫校の教育理念、募集要項などを早く発表してください。毎回、言っております。よろしくお願いいたします。</p> <p>私たちはPTAとして、併設中学校ができることをワクワクしております。早く発表していただいて、良いお子さんに受検しに来ていただきたいと思っております。開校にも閉校にも莫大な県民の税金を投入いたします。今の高知西高校よりも、もっと高みを目指す学校にならなければ、再編の意味</p>

がございません。世間でよく聞きますのが、「高知南高校は物理的になくなるがやき、かわいそうやんか。高知西高校も校名を変えちゃったらえいやん」。そのレベルの議論でしたら、高知県の教育レベルは、いつまでたってもこのレベルでございます。高知の高校教育の力量が、試される再編だと思っております。未来を見据えた議論を高知県民として切に願います。

4つ目でございます。

統廃合の経験者として、教職員の皆様のご苦勞について申し上げます。

まず、中学校の校舎の併設に伴い、騒音とか工事用車両の乗り入れとか、その他で、授業に大きな支障が出ます。そして、平成30年に開設されます中学校と連携の作業がございます。それだけでも大変ですのに、万が一、校名が変わるとなれば、作業が膨大に増加します。

PTAとしてその大変さをつぶさに見てきまして、先生方と生徒たちが向き合う時間が少なくなるということは、これは即、生徒の不利益につながることでございます。年度後半の大学受験時期には、先生方には一人でも多く補力の指導をしていただきたい。面接の練習をしていただきたい。小論文の添削を一人でも多くしていただきたい。余計な労力をかけたくはございません。もう一度、委員の皆様、想像してください。3学期に高知西高校への高校入試がございます。もちろん大学入試もでございます。閉校と開校の準備作業を同時にこなさなければいけない現場の教職員の疲弊する姿を、もう一度想像してください。そんなことで良い学校ができるのでしょうか。教育とは、いかに教師が持っている力を発揮するか。そのことに尽きるのではないのでしょうか。

義務教育の場合の統合と、高校のこれとでは、本質的な意味合いが違います。小中学校同士は、隣同士の児童生徒の質も住環境もよく似た学校同士が一つになりますけれども、高校は校風も偏差値も求められる生徒も、卒業後の進路も全然違います。それなのに、小中学校のようにA校とB校を統合してC校をとというのは、おかしいのではないのでしょうか。

最後に、高知西高校のPTA会長として申し上げます。検討委員会の皆さんは、この統合対象校の現場をご存知でしょうか。視察に来ていただいたことはございますでしょうか。ぜひ、高知西高校に来ていただいて、普段の授業の様子を見てやってください。ウチの校風はコツコツ、まじめに取り組むことにあります。

卒業生の一人が、当時の校長先生が全校集会でおっしゃった「コツコツは勝つコツ」。もう40歳過ぎの方ですけど、今だに覚えていて、仕事に活かしているとのこと。校風というものは、校長先生の押し付けでできるものではございません。また、一朝一夕でできるものでもございません。長い歴史の中で自然と培われたものでございます。心機一転と申しますけれども、校名がもし変わってしまえば、高知西校生徒としての自覚、生きがい、すばらしいまじめな校風がなくなってしまうのではないかと非常に危惧いたしております。

高知西高校の歴史と伝統が続いてきたその先に、いよいよ平成30年、IBプログラムが始まろうとしております。0からのスタートではなく、今までの高知西高校の実績や資産を活用していただきたいと思っております。はじめから高いところからスタートしないと、到底この難しいIBプログラムは成し遂げられないと思っております。そのための高知西高校の看板でございます。中高一貫校の理念と求められる生徒像と、その他を鑑みれば、校名をどうするか明白でございます。ここにいる皆さんで、検討委員会の皆さんも、教育委員会の皆さんも、全員で高知県の未来の教育を見据えていきたいと思っております。子どもは土佐の宝でございます。

参考資料までに、四国4県で統合しても校名が残った高校がございますので、それを紹介します。まず、香川県は2校でございます。愛媛県は0

です。これはなぜかという、高校だけの統合というのがないだけで、中学校と高校が統合されて、中高一貫校になった学校が私の調べたところによると2件ございます。また、分校が本校に統合されたというようなものは、ここには含まれていません。徳島県でございます。徳島県は、5校ございます。最後に高知県です。宿毛女子高等学校が宿毛高校に吸収され、宿毛高校が残っております。山田高校に鏡野高校が統合され、山田高校が残っております。大栃高校も山田高校に統合されて山田高校が残っています。仁淀高校が佐川高校に統合され、佐川高校が残っています。こういったように高校では、今までの歴史と伝統を未来につなげていくために校名が残った例もございますので、ご検討いただければ幸いです。長い話で申し訳ありませんが、よろしくお願いいたします。

高知西
(校友会会長)

それでは、私の方はお時間の関係もありますので、現在取り組んでおります高知西高校の英語教育、これを縦軸としまして、これまで取り組んでまいりました SELHi、SGH、IB の取組をとおしたこれまでの蓄積された知的資産の継承、発展、この視点でお話しさせていただきます。

高知西高校は、グローバル教育の一環といたしまして、昨年の平成 27 年にスーパーグローバルハイスクールの指定校となりました。この平成 27 年度、全国で指定されましたのは、国立高校 7 校、公立高校 31 校、私立 18 校の 56 校でありましたが、高知西高校は、この中にあがっております。

昨年度、SGH の初年度としてグローバル探究Ⅰを実施いたしまして、2 年目を迎え、次の段階としてグローバル探究Ⅱの段階に入っています。この SGH の取組と並行して、国際バカロレア教育の実施に向けた準備が始まっています。現在の予定では、平成 30 年度に新設される中学校において国際バカロレアの MYP の導入を目指し、これについては平成 33 年度に、高等学校の方でも国際バカロレアの DP の導入を目指しています。この一定の流れに沿いまして、一校の英語教育の取組や知的な資産の蓄積や継承、そしてこれからの活用について、お話をさせていただきます。

まず、本校の英語教育の変遷ですが、先ほど PTA 会長からもありましたように、昭和 43 年、高知西高校の英語科が設置され、同じく昭和 44 年に全県学区になり、それ以来 50 年近い歴史がある学校になりました。この間、高知県の英語教育の中心となりまして、英語運用能力の向上に務めてまいりました。

また、海外へ行くことが非常に珍しかった当時から、毎年のように 1～2 名の生徒を海外留学生として、派遣してまいりました。こうした蓄積がありまして、国際交流推進室を設置したり、現在でも海外への留学者の派遣、また、受け入れを推進しています。

こうした事業の数々が、次の段階のスーパーイングリッシュランゲージハイスクールの認定につながったものと考えています。このように英語教育一つをとっても、高知西高校は取り組んでまいりました。日本の高等学校における先進的な英語学校教育を研究するために、文部科学省の指定を受けたということです。指定された学校が重点的に英語教育に取り組むことになりまして、英語教育に重点を置いた教育課程、カリキュラムの開発や、中学校や大学の英語教育面での効果的連携の在り方を研究したものでした。高知西高校では、平成 15 年度から 3 年間の指定を受け、従来の英語教育の枠組を超えた、新しい英語教育に関する研究開発に取り組み、高知西高校が目指す授業を追究してまいりました。この成果ある取組を 3 年間実施することによりまして、生徒や教員を含む学校に見られる成果、これをそれぞれご説明いたします。

まず、生徒たちの成果として、2 点ご紹介いたします。まず 1 点目は読む、書く、話す、聞くの英語力の 4 技能としての教育です。自分の考えを

	<p>発信できる力である英語運用能力が向上いたしました。2点目としましては、ディベートやプレゼンテーションといった英語を使った活動を与えたことで、今まで以上に英語活動に慣れ親しんだことが挙げられます。</p> <p>次に、教員及び学校に得られた成果は、2点ありますので、述べさせていただきます。まず、1点目として新しい英語教育の総合的な指導カリキュラムの改善などが挙げられます。つまり、3年間の系統的な英語指導システムを完成し、従来の教科書を教えるというスタイルから脱却したということです。2点目として、学校の教育力の向上が挙げられます。課題設定から、仮説、計画、そして実践、また考察、検証というプロセスが確立され、授業改善の最も初歩的な手法として現在も行っています。この手法を持ちまして、日々の授業実践を繰り返しながら、授業改善を図っているのは、教員の共通の財産となっています。</p> <p>まさに、学校全体の教育力の向上に大きな変化をもたらしました。また、物質的な効果として、この SELHi の研究指定が終了してからもプロジェクトチームを中心として、ポスト SELHi の取組がなされております。これは、SELHi 事業の継承、発展、全英語科教員の多読プログラムとして、継承をされております。</p>
<p>会長</p>	<p>発言中、すみません。時間が来たので、あと2分以内でまとめていただけますでしょうか。</p>
<p>高知西 (校友会会長)</p>	<p>はい。こうしたことがありまして、SGH の取組、そして国際バカロレアの方につながるようになってきていると思います。特に探究力、主体性、多様性、協調性を含め、こうしたボトムアップが、次のバカロレア教育につながるようになったと思います。</p> <p>まとめとしまして、これまで高知西高校は、英語教育を中心として、従来の教育やグローバル教育を行ってまいりました。この再編振興計画におきましては、高知西高校には、グローバル教育のトップ校、かつ大学進学の出発点校になることが求められています。そのためには、これまで培ってきた精神、高知西高校の歴史、文化、伝統、そして何よりも教育面の成果、実績、ノウハウ、こうした知的財産、これを絶やすことはいけないというふうに思っています。</p> <p>校名がなくなるということは、こうした知的財産がなくなるということです。こういった大きな危機感を、私たちは持っております。過去に対する感謝、現在の義務、そして将来の子どもたち、高知西中学校、高知西高校に通う、選ぶ子どもたちに対する責任としても、高知西高校の名前を継続したい。また、新たな中高一貫教育ということになれば、高知西高校の名前を選んでいただきたい。そのように思いますし、お願いします。以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>はい。ありがとうございました。 では、委員の皆様からご質問があれば、よろしくお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>お二人のご意見で、高知西高校の英語教育の成果のうえに立っているのだから、今回の統合に関して、校名を変えるという選択肢は持っていない。絶対はないという風に受け取りましたが、そのことに対して、例えば、高知南高校の方と一緒に、お互い歩み寄りながらの協議をとすることはありえないということでしょうか。それは、難しいということでしょうか。</p>
<p>高知西 (校友会会長)</p>	<p>私どもは、直接、お話をしていないので、この要望書で判断をするしかないのですが、高知南さんには、この中に要望事項の1として、新たに設</p>

	<p>置される中高一貫校に対しては、統合する両校の既存の学校名、南、西の漢字表記や英語表記、またそれらに類する表現標記を使用しないこと、ということが明確にうたわれております。私どもは、一貫して高知西高等学校という名前で新しい学校にのぞみたいということで活動しておりますので、この要望事項の1点目を見るだけでも、高知南さんと一緒に協議というのは難しいと思います。</p>
委員	<p>高知南高校のご意見をおうかがいすると、高知南高校の方は歩み寄ろうという努力をなさっているのではないかと思いますのですが、高知西高校の場合は、自分たちの校名を守りたいという感じです。誰もが、自分の母校の名前を守りたいというのは当然だと思いますけれども。</p>
高知西 (校友会会長)	<p>言葉では、歩み寄りと言われていますが、最終的には、この要望書の1番のところにはそう感じられません。あと、思いを込めた校名ということで3つ候補がありますけれども、これも協議をして提案された名前としておっしゃられましたので、表現としては歩み寄りという表現があったのですけれども、要望書からは、それが感じられませんでした。</p>
会長	<p>他にいかがでしょうか。</p>
委員	<p>今日のご意見、承りました。今日は、決め方についてのご意見をおうかがいしたいという会ですので、もし決め方についてのご意見がありましたら、おうかがいしたいと思います。いかがでしょうか。</p>
高知西 (校友会会長)	<p>高知西高校の立場とすれば、パブリックコメントということで、一人一人の県民の皆さんから、県教委のおっしゃる新たな中高一貫校にふさわしい名前は何ですかということで、問合せをしていただきたい。</p> <p>また、それぞれの卒業生がいらっしゃいますし、また、高等学校の名前というのは、それぞれの関係者だけの財産というわけではなく、高等学校は県下全体の財産であるので、県内外を含めて公募という形で聴いていただきたいと考えています。</p>
高知西 (保護者代表)	<p>もう一つ追加させてください。卒業生は、高知県内にいらっしゃる方よりも、県外に出ていらっしゃる方の方が多いので、県民ではなくて国民の意見を聞いていただきたいです。</p> <p>もう一つ言わせていただければ、高知県に保護者のお仕事で来ていらっしゃる外国籍の方々もいます。新中学校はインターナショナルなスクールになると思いますので、この方々にも意見を聴けたら聴いていただきたいと思います。</p>
会長	<p>他に何かございませんか。</p>
委員	<p>高知南高校にも聞きましたが、将来のお子さんが新しい学校に入ったら、どういう風な学校で何を学んでもらいたいか、お聴きしたいと思います。</p>
高知西 (校友会会長)	<p>今、SGHを中心に取組をしておりますが、このSGHの中で、探究力を育成していくことで、主体性、多様性、協調性を身に付けさせようとしています。</p> <p>また将来的には、国際バカロレアのDPでは、高いレベルの国際的なレベルのことをやろうとしておりますので、このグローバル教育では、高知県を代表する学校、世界に通用する人材を輩出するという気持ちで、私ども</p>

	<p>は今回、この会に参加しております。</p> <p>若いお母さんたちが「いい学校をつくってもらいたい」というのがよくおっしゃられる言葉です。若いお母さんたちのいい学校とはどういうイメージでしょうか。最終的に良い大学に進学できる学校、つまり進学拠点校であると私は思います。</p> <p>それから、高知県は私高公低でございますので、経済的に大変なご家庭の方もいらっしゃると思います。それが、県立高校の月謝でバカロレア教育が学べて、世界に通用する成績証明書を手にすることができるというのは、素晴らしいことではないでしょうか。このような学校に私たちはしたいと思いますし、応援していきたいと思います。</p>
高知西 (保護者代表)	
会長	<p>最後に私から。出身校、あるいはお子さんが通われている高校の名前、あるいは歴史に、非常に大きな愛着を持つというのは、私もそうですし、お気持ちはよくわかります。ただし、ある見方をすると、それは財産であって将来は別だということも考えられます。今、おっしゃったように新しい学校をつくるのだ、ということは将来に向けて何かしましょう、ということ。その時にそれぞれの高校が持っていた財産をお互いにあわせて、補完しあって、未来につながるものになるという見方も、できるような気がします。そうした時に、本当に高知西高校の校名を残したいというお気持ちはよくわかりますが、もう少し、50年先の未来を見た時に、本当に高知西高校以外にありえないのかということ、ぜひお考えいただきたいなど、私自身は思います。それはやはり未来に対してどうあるべきか、という観点をお持ちいただくと、すごくいいかなと思います。</p> <p>そういうことが、この委員会で校名を検討するうえで、そういうお気持ちを少しでも持っていただくと、私たちもいろいろな案を考えようというふうに思いますので、ぜひ関係者の皆様にも、私がおっしゃったとお伝えしてみてください。</p> <p>他に何か、ご質問やご意見はありますか。</p>
高知西 (保護者代表)	<p>未来とおっしゃいましたが、未来は見据えています。50年先の未来とおっしゃいましたが、50年経った時に、もし高知西高校の名前が残っていれば、110年の歴史を持つ進学拠点校になっていると、私は思います。</p> <p>未来というのは、今から続いていくものではなく、過去から来ているものでございますので、過去の実績を活用しないのは、もったいないことになると思っております。</p>
会長	<p>はい、わかりました。</p> <p>私のような見方も、世の中にはあるということをご承知おきいただきたいと思います。</p> <p>それでは、委員のみなさん、よろしいですか。</p>
各委員	〈 はい 〉
会長	それでは、どうもありがとうございました。

【事務連絡等・閉会】

会長	それでは、本日の議事については以上ですが、委員のみなさまから、何かご提案ありますか。よろしいでしょうか。
各委員	〈 なし 〉

会長	ないようでしたら、事務局から何かありますでしょうか。
企画監	<p>次回のこの委員会の日程について、お知らせしたいと思います。事前に委員さんと日程調整させていただきまして、第3回目の日を決めさせていただきました。</p> <p>5月18日（水曜日）になります。時間は同じく18時半からを予定しております。場所も、同じくこの会場を予定しております。改めて各会長さんには、お知らせの文章は送らせていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>はい。ということで、今回は5月18日、18時半からということですので、委員のみなさん、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>今回の委員会では、本日のご意見を踏まえたうえで、校名候補の決定方法や県民からの意見の聴き方の具体について、協議することになりますので、事務局には、協議の材料となる資料提示の準備をお願いしたいと思います。</p> <p>委員の皆様から何かご希望の資料はありますか。ないようでしたら、先ほどのご意見の中にもありましたが、他県で統合によって校名を決めた事例を資料として提出願いたいと思いますがよろしいでしょうか。</p>
企画監	はい。わかりました。準備させていただきます。
会長	一応、用意していただくのは、それでよろしいでしょうか。
各委員	〈 よい 〉
会長	<p>それでは、委員の皆様のご同意を得ましたので、委員の皆様、そして、各学校の関係者の皆様、ご協力、どうもありがとうございました。</p> <p>それでは、進行を事務局にお返ししますので、この後、よろしくお願いいたします。</p>
司会	<p>西郷会長、会の進行をありがとうございました。</p> <p>また、委員の皆様、活発にご質問いただきまして、重ねてお礼申し上げます。それでは、以上をもちまして、第2回高知県立学校の校名に関する検討委員会を閉会させていただきます。</p> <p>本日は、ありがとうございました。</p>